

令和8年度 女性の職業選択に資する情報公表（女性活躍推進法第21条関係）

特定事業主名： 愛媛県公営企業管理局

令和8年7月31日公表

I 職員の男女の給与の額の差異

1. 全職員に係る情報

職員区分	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
任期の定めのない常勤職員	63.7%
任期の定めのない常勤職員以外の職員	76.5%
全職員	60.7%

2. 「任期の定めのない常勤職員」に係る役職段階別及び勤続年数別の情報

* 地方公共団体における「任期の定めのない常勤職員」の給料については、各地方公共団体の条例で定める給料表に基づき決定されており、同一の級・号給であれば、同一の額となっている。

(1) 役職段階別

役職段階	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
本庁部局長・次長相当職	84.7%
本庁課長相当職	86.0%
本庁課長補佐相当職	112.8%
本庁係長相当職	75.7%

(2) 勤続年数別

勤続年数	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
36年以上	105.0%
31～35年	96.0%
26～30年	76.4%
21～25年	62.3%
16～20年	54.0%
11～15年	59.9%
6～10年	55.0%
1～5年	57.1%

【説明欄】

【男性職員の給与水準が高くなっている主な要因】

○病院職員が多く（公営企業管理局全職員の約96%）、男女比はおおよそ3：7となっている中で、男性職員に占める相対的に給与水準の高い医師の割合が約36%に対し、女性職員に占める医師の割合は約5%と低くなっている。

○勤続年数別のうち、任期の定めのない常勤職員医師の約95%は、25年以下の区分である。

○男性職員に占める相対的に給与水準の低い「任期の定めのない常勤職員以外の職員」の割合が約17%に対し、女性職員に占める「同職員」の割合は約32%と高くなっている。

II 管理的地位にある職員に占める女性職員の割合

区分	令和7年度
管理的地位にある職員	17.0 %

【説明欄】

○職種別で見ると、比較的、女性職員の割合が多いメディカルスタッフ（医師を除く）や看護師は、政府目標の 30%を超える状況となっているが、医師や行政職員については低位な状況となっている。

III 各役職段階にある職員に占める女性職員の割合

区分	令和7年度
本庁部局長・次長相当職	8.0 %
本庁課長相当職	18.6 %
本庁課長補佐相当職	24.3 %
本庁係長相当職	41.1 %

【説明欄】

職位が下がるにしたがって、女性職員の割合が増加しており、特定事業主行動計画に基づく取り組みの成果が見られる。

IV 採用した職員に占める女性職員の割合

区分	令和7年度
正規職員 (上記のうち看護師除く)	62.7 % (32.1 %)
会計年度任用職員	72.5 %
任期付職員	—

V 男女別の育児休業取得率及び男女別の育児休業の取得期間の分布状況

1. 男女別の育児休業取得率

(1) 常勤職員

区分	令和7年度
男性	54.5 %
女性	100.0 %

(2) 会計年度任用職員

区分	令和7年度
男性	0.0 %
女性	100.0 %

2. 男女別の育児休業の取得期間の分布状況

区分	常勤職員		会計年度任用職員	
	男性	女性	男性	女性
1週間未満	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
1週間以上2週間未満	0.0 %	1.6 %	0.0 %	0.0 %
2週間以上1月以下	27.8 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
1月超3月以下	50.0 %	0.0 %	0.0 %	7.7 %
3月超6月以下	16.7 %	0.0 %	0.0 %	15.4 %
6月超9月以下	0.0 %	4.8 %	0.0 %	15.4 %
9月超12月以下	5.5 %	17.7 %	0.0 %	61.5 %
12月超24月以下	0.0 %	8.1 %	0.0 %	0.0 %
24月超	0.0 %	67.8 %	—	—

【説明欄】

○育児休業を取得した全ての男性職員が2週間以上の取得している。

○女性職員については、医師1名が、2週間未満の取得となったが、1年以上の取得が75.9%となっている。

VI 男性職員の配偶者出産休暇及び育児参加のための休暇取得率並びにそれぞれの休暇の合計取得日数の分布状況

	割合
取得率	78.8 %
6日以上所得率	39.4 %

VII 職員の勤務時間の状況

管理的地位にある職員以外の職員一人当たりの一月当たりの正規の勤務時間を
超えて命じられて勤務した時間

区分	令和7年度
本庁	23.2 時間／月
本庁以外	19.8 時間／月

【説明欄】

本庁と本庁以外で大きな差異は見られない、
職種別で見ると、医師の超過勤務が多い状況（47.5 時間）にある。

VIII 職員の年次休暇等の取得日数の状況

	割合
平均取得日数	9.6 日
取得日数5日未満の職員割合	2.4 %